

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 江田島市立三高中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒737-2316
広島県江田島市沖美町三吉2699

E-mail mitaka-chu@edc.etajima.hiroshima.jp

Website http://www.edc.etajima.hiroshima.jp/~mitaka-chu/

児童生徒数 男子 17名 女子 21名 合計 38名
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

「環境学習」、「人権教育」、「食育」に視点を置いて、「自他の良さを認める」「人とつながり」をキーワードに指導を行った。特に、「人権教育」、「食育」を中心に、生徒が自分たちの直面する課題に向きあい、解決策を考えたり、多様な価値観を認め尊重したり、健康について考え実践できる資質や態度、能力を養う教育を展開した。

今後は、各教科と領域をさらに関連させながら、互いに認め合い、共に高めあう話し合い活動ができる学習集団の育成に努める。

① 「環境学習」の取組

平成26年から平成27年にかけて沖美町木下川の生態調査に取り組んだ。地域を流れる川の「水生コウチュウ相の解明」の調査結果をスライドにまとめ、学習発表会で地域公開した。また、調査結果を受け、ヒラタドロムシ科チビヒゲナガハナノミのマイクロハビタットにテーマをしぼり、平成28年度から2学年が調査を行った。一人一人が、科学レポートを作成するとともに、学年全体で一つの科学レポートも作成した。生徒は協力してフィールドワークに取り組み、協調的な姿勢・態度を育むとともに、レポート作成を通して科学的なものの見方・考え方を向上させた。

② 「人権教育」の取組

平成28年度から、文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の委託を受けた。本校の生徒は、少人数で人間関係が固定化しているため、人に伝えたり聞いたりするとき、相手の価値観を認めることができない傾向がある。また、関わりが少ないことから、ソーシャルスキルが十分身に付いていないという課題がある。そのため、隣接する三高小学校と連携し、「自他のよさや違いを認め合い、人とつながり、ともに高めあう児童生徒の育成」を研究主題に、学習活動づくり推進部と人間関係づくり推進部の2部会を設け、調査研究を行った。学習活動づくり推進部では、学習過程の振り返りができる掲示物の工夫や授業の流れの掲示、傾聴の姿勢の徹底等による授業のユニバーサルデザイン化やペアトーク、グループトークを取り入れた授業づくりに取り組んだ。人間関係づくり推進部では、教室の掲示物を統一することにより、授業のユニバーサルデザイン化を図った。また、生徒の自己肯定感、帰属意識を高めるために、月々の行事や食育の取組の写真を掲示、小学生や地域や保護者の方からのメッセージの掲示等を行った。今後は、ソーシャルスキルを磨く具体的な取組を朝の会等で取り入れたい。また、部活動や委員会において、役割を果たし、やりきる経験を通して、困難に立ち向かうことができる強い心を育て、「自分を大切に、他人を大切にして共に生きていくこと」を実践しようとする人権感覚を高めていきたい。交流活動や話し合い活動を基盤とした、道徳の時間のあり方を主研究領域として取り組んでいく。

③ 「食育」の取組

全学年自主参加型で、食育応援団を結成し、野菜の栽培や収穫、調理を行った。異学年や地域の方とのつながりは自他の良さを認める良い機会であり、自分たちの野菜を育てることで、責任感や自らの健康について考え実践できる生徒の育成につながった。

食育の取組は、総合的な学習の時間に取り入れている。柱として「郷土料理作り」「マイ弁当作り」「和菓子作り・茶道」がある。

郷土料理作りでは、1年生を対象に、地域の食生活改善推進員を招き、三高の郷土料理である「もぶりご飯」「アジの塩焼き」「きゅうりの中華あえ」「みそ汁」を作った。郷土の料理に強い関心を抱き、アジをさばく体験や質問の時間など積極的な姿が見られた。地域の方と一緒に郷土の料理を会話を楽しみながら調理し食べる経験は、郷土愛を育み、尊重する心を持つ大きなきっかけとなった。

マイ弁当作りでは、農園で採れた野菜を使って献立を個人から班、学級で考え、ベジタブルマイスターから健康の保持増進のために望ましい栄養を考慮したアドバイスを頂いた。完成した献立をもとに、それぞれが責任をもって役割を果たしたり、地域の方と一緒に調理をすることを通して、弁当作りの楽しさを味わったりした。また、振り返りで友達に言われて嬉しかった言葉を書き掲示することで、自他の良さを認めるきっかけとなった。

長期休業中は、サマーコンサートやウインターコンサートを開催し、食育応援団で収穫した野菜を調理し、地域の方や保護者、先輩方に振舞った。準備から片付けまで様々な活動を通して、主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度を養った。

和菓子作り・茶道は全学年を対象に、地域の食生活改善推進員及び茶道師範を招いた。地域で採れたさつまいもを使用した和菓子を作り、その和菓子を茶道の時間にお茶を点てながら頂いた。和菓子を自分たちで作ることで、調理する楽しみと食べ物への感謝の気持ちを育てること、お茶に親しむことであいさつがしっかりでき、感謝の心や物を大切にすることを育てることをねらいとして行った。学習を通して、地域の人たちとつながりを持ち、充実感を味わうことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）